

T

T

A

K

10月15日号
地域連携室発行

秋の夜長…皆さんは何をしていらっしゃいますか？

資格取得に向けて、自己学習？それはすばらしい！

今月は呼吸器管理の知識と技術が必要なとても興味深い資格についてです。

特集！ 有資格者に聞く！

第2病棟 土井美幸 看護師に聞く 呼吸療法認定士とは…？

今回は呼吸療法認定士についてお聞きしたいと思います。

Q：土井さんはこの資格をいつ修得されましたか？

A：平成14年、第7回目のときです。

Q：なぜ、この資格を取ろうと思いましたか？

A：人工呼吸器を装着されている患者さんを見る度に、知識不足を感じたことと、もともと呼吸器疾患には興味があったため、この資格を取ろうと思いました。

Q：呼吸療法認定士というのは、どこが認定している資格で何を目的としているものなののでしょうか？

A：日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会の3学会合同呼吸療法認定士認定委員会が『それぞれの職種において、呼吸療法を習熟し呼吸管理を行う医療チームの構成要員を養成し、そのレベルの向上を図る』ことを目的として、呼吸療法認定士制度を創設しました。

Q：受験資格はどうなっていますか？また、どれくらいの人がこの資格を持っているのでしょうか？

A：受験資格は、看護師・臨床工学士・理学療法士で経験年数2年以上、准看護師で経験年数3年以上、また、認定講習会（東京）に参加した者となります。

平成8年から受験が行われ、年々、合格率も上がってきていますが、平成16年で合格率62.8%（1898人）となっています。

Q：合格率を見ると何だかとっても難しそうですね。受験勉強をされる上で苦労された事はありますか？

A：テキストは約400ページあって、解剖から始まり、血液ガス・肺機能の解釈から呼吸理学療法・人工呼吸管理などその他、盛りだくさんです。

内容が難しすぎて理解できない事が多々ありました。

今でもわからないことがありますけど・・・



Q：そんなことは・・・受験に際してどのような準備をされましたか？

A：まず、必須の認定講習を2日間、東京で受けなければならなかったので、その手続きやホテルの手配に大忙しでした。受験まではテキストとにらみ合っていました。

Q：勉強にかかった費用はいくらくらいですか？また、勉強に当てた期間はどれくらいですか？

A：認定講習代（テキスト含）2万円、交通費（東京往復2回分）と宿泊費、食費で約7～8万円で・・・交通費が痛い出費！！ 受講から受験まで約3ヶ月ありましたが、勉強はポツリポツリと1ヶ月くらいしたかな？という感じです。



Q：資格の更新に必要な手続きとかはありますか？

A：5年ごとの更新で、委員会が定める講習会への参加や学会への参加・発表を行って50点を取得し更新手続きを行います。

Q：今後、この資格を持ってどのように生かしていきたいと思えますか？

A：近年の医学の進歩とともに、高度医療の適応をますます広げていて、それに伴い、呼吸療法の重要性が認識されていますが、

呼吸療法の実際に精通している医療要員の不足のために、呼吸療法の普及の障害になっていると言われています。私も、この資格を取得したものの、それを活かすだけの知識も技術もまだ不足していますし、また、それを活かせるだけの機会もありません。

この資格は、それぞれ所有する国家資格により、規定される業務範囲で医療チームを構成し互いに協力して効果的な呼吸療法を実施していく事が必要なため、資格を活かして働く事は現状ではなかなか難しいと感じています。

でも、できる限り講習会に参加し、科学的根拠に基づいた呼吸療法を学び、他のスタッフに伝え、共に学んでいけたらと思います。

ありがとうございました。

いかがでしたか？

呼吸器ケアに関して、なかなか苦手意識が強く、難しいものと思ってしまう。

でも、何事も興味を持って取り組むことが大切ですね。「好きこそものの上手なれ」です。

しかし・・・自己学習も必要ですが、今度、機会があれば

呼吸療法・呼吸器ケアに関する勉強会などを開いて頂けたら・・・と感じてしまいました。他力本願？

さて、来月は・・・

内視鏡室 **小林利美子** 看護師の

第2種消化器内視鏡技師についてです。

おたのしみ！！



T・TAK 新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ
<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧いただけます。

By Y,Y